指定管理業務評価表

施設名	ふれあい高齢者デイサービセンター		
対象年度	元年度	評価担当部	福祉部
指定管理者名	社会福祉法人小牧市社会福祉協議会		
指定期間	平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日		
職員体制	常勤職員3人、非常	常勤職員 16人	

1. 利用実績

(1) 利用者数 計7,914人(前年度比 約90%)

前年度利用者数 8,770 人

4月	5月	6月	7月	8月	9月
701人	691人	640人	719人	706人	662人
10月	11月	12月	1月	2月	3月
690人	659人	607人	568人	629人	642人

(2) 增減要因

年間の延べ利用者数は、30年度と比較して856名減となった。上半期では新規利用者数も増えてきていたが、下半期で重度の要介護認定者の施設入所等が続いたことが、利用者数減の要因と考えられる。

2. 利用者アンケートの結果

実施期間	令和元年 10月 10日~11月2日	回答数	52 枚
	令和2年2月12日~2月29日		48 枚
利用者の	職員が固まって話をしていて周りが見えていないので直してほしい。		
主な意見	入浴で体型のことをストレートに言われて傷ついた。		
	送迎についてわがままを言ったものが優	憂先なのか。	自分はまだお願いし
	たいことはないが、平等に聞いてほしい	١,	
具体的な	・ご利用者様の声を真摯に受け止め、今後	食はこのよう	なご指摘のないよう
対応状況	にしていきます。		
	• 今後は言動に気をつけ、ご利用者様が気持ちよく入浴できるよう配慮し		
	ます。		
	• できるだけ皆様の希望に沿った送迎対応	が出来るよ	う努め、今後はより
	満足していただけるよう配慮します。		

3. 収支の実績 (単位:円)

		30 年度	元年度	2 年度	備考
		(前年決算額)	(現年決算額)	(翌年予算額)	(主な内訳、増減要因)
収	指定管理料	350,547	321,334	500,000	
入	事業収入				
	合計	350,547	321,334	500,000	
支	需用費	350,547	321,334	500,000	修繕費
出					
	合計	350,547	321,334	500,000	

4. 評価

4. 評価			
項目	市の評価		
運営業務	・市の階層別研修、愛知県社協のキャリアパス研修を受講し、介護の専門職		
	としてだけでなく、職位や経験に応じた研修を受講している。また、認知		
	症介護実践者研修を受講することで、専門的な知識の習得が図られている。		
	・ 社協内で被災時に利用者の安否確認を行うことに関する検討会を実施し、		
	地域包括支援センターやヘルパーステーション、障害者総合相談支援セン		
	ターと安否確認の優先順位等を協議し、情報共有を図っている。		
	・施設内の設備やトイレ、浴室など、日常点検が実施され不備がある場合は		
 維持管理業務	速やかに修繕の対応が行われている。		
雅拉吕廷来扬 	・安全対策として、避難訓練を実施したり、不審者に対する防犯マニュアル		
	を作成し職員間で共有を図っている。		
	・盆踊りやダンス、バルーンアート、中部フィルハーモニーや春日井西高校		
 自主事業	の吹奏楽演奏、相撲企画などのイベントを実施し、また地域住民にも周知・		
日工尹未 	参加してもらうことで、利用者だけでなく地域とのつながりを大切にして		
	いる。		
	・職員に対して適切な教育、研修の受講がなされている。		
サービスの質	・アンケート結果より、8 割以上の利用者から満足との回答を得ており、利		
	用者の満足度の高さが窺える。		
収支状況及び	・裏紙やファイルを再活用している。		
経費節減	・レクリエーション時に牛乳パックやペットボトルを活用した。		
	・社会福祉協議会全体としての非常時の行動マニュアルを整備しており、有		
その他	事の際にも対応できる体制となっている。		
	・認知症徘徊者の捜索対応演習を行い、緊急時の対応を職員間で共有できて		
(緊急時の対	いる。		
応等)	・夏期にゴーヤのカーテンを設置し、遮光による空調の効果を高めるだけで		
	なく、ゴーヤを収穫し調理し利用者へふるまうなどして、利用者満足度を		
	高める努力をしていると評価できる。		
	・コロナの感染防止対策(職員のマスクの着用、アルコールによる消毒の徹		

底、定期的な空気の入替等)が実施されている。